

Injury Alert (傷害速報)類似事例

補助輪が装着された自転車運転中の転倒、側溝への転落による頭蓋骨骨折 (No.72 グラウンドで発生した腹部外傷の類似事例 1)

事例	基本情報	年齢：4歳 2か月 性別：男児 体重：15kg 身長：98cm
	家族構成	父、母、妹、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		右前頭骨骨折 (右眼窩上壁～前頭蓋底骨折)
医療費		入院 244,790円 外来 1,620円
原因対象	対象名称	補助輪が装着された新品の自転車
	入手経路 使用状況	受傷 2 か月前に自宅付近の量販店で店員と相談し、児の身長にあった補助輪を装着できる新品自転車 (16 インチ) を購入した。補助輪はまっすぐ立った状態で両側の補助輪が地面から 1-2cm 程 (傾くと 4 cm程) 浮く状態であった (図 1)。
発生状況	発生場所	自宅付近の坂道 (図 2)
	周囲の人 周囲の環境	母が坂の下で受傷の瞬間を目撃していた。 歩道が確保されていない公道であった。
	発生年月日	2022年 2月 26日 (土) 午後 1時 30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	自宅付近の緩やかな坂道を母の後ろを追いかける形で、自転車を漕いで下っていた。普段はヘルメットを装着していたが、受傷当日は装着していなかった。補助輪付きの自転車であったが、坂道を曲がる際に自転車の重心が右方に傾き、そのまま転倒した。その際に深さ 1m ほどの無蓋の側溝に転落した (図 2 の矢印部分)。母が見に行ったところ、児は仰臥位で啼泣していた。意識障害はみられなかったが、医療機関へ向かう途中の自動車内で嘔吐を認め、救急要請した。近隣の医療機関での受け入れが困難であるためドクターヘリで高次医療機関へ搬送された。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>到着時は、意識清明でバイタルサインの異常は認めなかった。気道、呼吸、循環には問題なく、FAST (focused assessment with sonography for trauma) も陰性であった。右前額部・上眼瞼が著明に腫脹し、皮下出血を認めた (図 3)。眼球運動障害、複視、眼痛は認めなかったが、嘔吐や倦怠感が持続した。頭部・顔面 CT 検査 (図 4) では、頭蓋内出血は認めなかったが、右眼窩上壁から前頭蓋底にかけて線状の前頭骨骨折を認め、同日入院した。入院後、徐々に倦怠感や嘔吐は改善し、経口摂取が可能となった。眼科・脳神経外科の診察で専門的治療が不要であることを確認し入院 4 日目に退院した。骨折に関しては、今後脳神経外科による外来管理予定である。</p>
<p>キーワード</p>	<p>補助輪、自転車、側溝、頭蓋骨骨折</p>



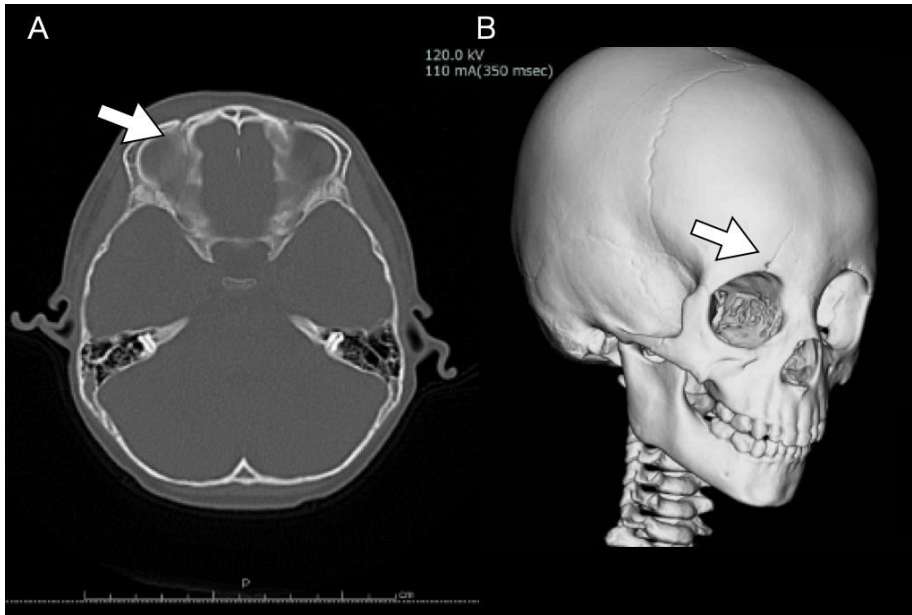
【図 1】 補助輪を装着した自転車。補助輪はまっすぐ立った状態で両側の補助輪が地面から 1-2cm 程 (傾くと 4 cm 程) 浮く状態であった (矢印部分)。



【図2】 A：三角印は進行方向。自転車が右方に傾き転倒し、本児が転落した側溝（丸印） B：受傷した側溝の拡大写真、 C：深さは約 1m 程度であった



【図3】入院時、右前額部・上眼瞼が著明に腫脹し、皮下出血を認めた。



【図4】 頭部・顔面 CT 写真。右眼窩上壁から前頭蓋底にかけて線状の前頭骨骨折を認めた。